

伊豆市立修善寺南小学校 学校だより

学校教育目標
重点目標

「共に輝く たくましい 南っ子」
「熱い瞳 あふれる笑顔 まぶしい汗」



住所:
伊豆市柏久保449
電話番号:
0558-72-0149

南の子だより

平成30年7月6日 発行
第16号

みんなが自然体で楽しく交流・共同学習

修善寺南小学校長 手島雅恵



「だるまさんが
転んだ」さーっ
と動いてじっと
止まる。「〇〇
さん動いたよ」
静と動が心地よ
い

あそびをいっしょに
やらない会
あそび
3,4くみより
あつまるところ

1	8	ボールけり
2	8	だるまがころんだ
3	8	うくまし
4	8	にんげんガルトサー
5	8	丸太じんけん
6	8	ちんぼてい玉入れ
7	8	ふうせんはじりー
8	8	大きなかぶ
9	8	はんだいしんごう

くみさんかしてくれて
ありがとうこさいます
なはなとかいぞう

2F 中央階段踊り場にこう
した掲示物が貼られていま
す。3,4組さんからのあ
誘いです。自主的参加型が
いいんですよ。

3,4組(特別支援学級)の子どもたちが主催者となり「一緒に遊びをやらない会」を企画してくれています。「一緒に楽しくやろうよ」という声も聞こえてきます。そうしたお誘いに、たくさん子どもたちが参加し始めています。決して無理をしない、自然体でお互いにかかわり合うことが実にいいのです。子どもたちが一緒に遊びを共有し、楽しんでいる姿、すごく素敵な光景に出会い、私も一緒に「だるまさんが転んだ」に参加させてもらいました。みんな笑顔なんですね。「〇〇さんと△△さんは動いたよ」と言われても残念と苦笑いしながらも、誰かが助けてくれるのをわくわくして待っているんです。

私たち大人は、こうした純朴でかけひきのない子どもたちの世界からたくさんのことを学ばせてもらっていません。私自身も子どもたちのさりげない仕草や対話から感心させられること、驚かされることの毎日です。

いいものを上手に子どもたちの主体性あふれる活動に仕立てていく仕掛けは身近な大人の支援にかかっていますね。この活動の陰にはやはり、子どもたちのよさを引き出す教師のにくいほどの演出があるのです。私はこうした活動の場を設定して下さった大城先生や大川先生、かかわりを持ってくれる支援員の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

- 『みんな違ってみんないい』
- 『差別や偏見なく誰もが幸せな気持ちで生活できる』
- 『みんなで共に助け合い支え合って生きていく』

このような言葉のとおり、これからの時代は共生社会の実現を目指していくことになります。その第一歩は学校教育や家庭教育の中にあります。まず、私たち大人が子どもたちの手本となる行動や姿を示していかなければなりませんね。

家庭教育学級みんなで実習
『サードメディスン、アロマ作り』

6月29日(金)に新田先生を講師にして家庭教育学級「サードメディスン体験講座」を行いました。「サードメディスン」というのは8種類の香りを好きな順番に並べる簡単なテストで体調や体質を診断するものです」と画面を見せながら、丁寧に説明して下さいました。参加した方々は実際にアロマの香りをかいで自分の診断書に書き込みました。「バランスがとれていて結構いい体調なんですわね」など、お互いの診断結果に一喜一憂されていました。その後、自分好みのアロマ作りを楽しみました。リフレッシュできた家庭教育学級になりました。次回の家庭教育学級にもぜひ皆さんで参加してください。



新田先生がやり方を説明している場面です。参加者の素敵な笑顔、何があったのでしょうか。いい雰囲気いっぱい！



南小では金曜日の朝、委員会主催で「南小クリーンタイム」を行っています。運動場をいち早く走り終わった子どもたちが写真のようにならに枝や葉を拾い集めていました。いい光景だなと思いました。「みんなの手で小さいことからこつこつと、学校をきれいにする」ことを目指して取り組んでいきたいですね。

「南小クリーンタイム」



みんなで協力して給食準備！

「給食準備は誰がするのでしょうか。それは助け合いの精神を持ってみんなで協力して行うものですね。だから係の人はいち早く動き、配膳準備が整うまで周りのものは素早く、静かに待つ姿勢をつくらなければなりません」そうした給食準備のできる学級にみんなですていくことを今、取り組んでいます。「しっかりできていました」と褒められる学級が増えてきました。何でも意識していくことが大事なんです。

保護者の方からのご意見・ご感想

()年()組() (児童名)

体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことがありましたらお知らせください。